

『金瓶梅詞話』における 「西門慶」の罵倒語の研究

渡辺博文

1. はじめに

今回の研究対象として選んだ小説『金瓶梅詞話』（注1）の特徴は登場人物の性格、17世紀の市民生活、社会的雰囲気などが表現豊かに、そして生き生きとして描写されているところにある。また登場人物も名前のある者やない者をすべて数えた場合に、五百人余りにも上り、その個々の人物像の社会的属性も詳細に設定されている。このように登場人物たちが生き生きとした手法で描写され、且つその社会的属性などが詳細に設定された中で、主人公の西門慶を中心に物語が進んでいくのである。

曹煒（1997）によると『金瓶梅詞話』はそれより以前に書かれた文学作品とは違い、中国において初めて、庶民の日常生活を題材として書かれている。その主人公である西門慶は「夫、官僚、義兄弟の兄」など様々な立場で登場し、その言葉遣いもそれぞれの立場に応じて使い分けられている。その中、西門慶の人物描写の成功において罵倒語は極めて大きな役割を果たしているのである。そこで本論文は、西門慶の発話行為における罵倒語に注目し、その使用の傾向や特徴について考察を進めたいと思う。

2. 研究方法

『金瓶梅詞話』の言語表現を扱った曹煒（1997）によれば、西門慶の発

話行為は大きく二つの部分に分けられ、その一つ目は、西門慶がその妻たちとの間の発話行為であり、二つ目は、妻以外の人たちとの間の発話行為である。しかしこれでは西門慶の罵倒語を対象の身分や性別、対象との関係などの角度から観察することができず、その細部まで研究することができない。

そこで本論文は罵倒語をその使用状況に応じて、まず大きく二つの使用場面に分ける。一つは罵倒対象がその場において、その対象に対して直接的に罵倒語を使う場合、もう一つは罵倒対象がその場にはいない時で、その対象に対して間接的に罵倒語を使う場合である。ここでは前者の場合に使用された罵倒語を「直接罵倒表現」とし、後者の場合に使用された罵倒語を「間接罵倒表現」とする。

そしてこの二つの罵倒表現の罵倒対象に対して、社会的属性や西門慶との関係を基に分類し、その対象別の特徴や傾向を分析する。次に罵倒語が持つその意味特徴を基に分類し、現れた項目に例語を挙げる。最後に判明した項目を上記で分類した使用場面や罵倒対象と対応させ、その特徴や傾向の分析を行う。

3. 罵倒対象と罵倒語の分類およびその分析

3. 1. 罵倒対象の分類およびその分析

ここでは上記の研究方法に従い、西門慶の罵倒行為の対象について分類を行う。この分類を表したものは下記の通りである。

図1 罵倒対象判別図



この分類を通して西門慶は実に様々な対象に対して、罵倒語を使用していることが分かる。そしてそこから幾つかの特徴が現れたのである。

(1) 直接罵倒表現におけるその罵倒対象は、妻と並んで女中や下男という使用人が目立つ。そして西門慶との上下関係が、明確に現れた対象でもある。間接罵倒表現での罵倒対象の多くも西門慶より身分の低い者となっているが、上下関係が明確な対象に集中するのではなく、様々な属性を持つ対象に対して罵倒語が使われている。このことから西門慶は、直接罵倒表現では上下関係が明確な対象に対して罵倒語を使用する傾向にあると言える。

(2) 間接罵倒表現での罵倒対象は、直接罵倒表現よりも西門慶との関係が明確でない対象を多く含んでいる。そして上下関係が明確な妻や使用人などに属する対象は、直接罵倒表現よりも減少していることが見て取れる。このことから西門慶は自分との関係が明確でない対象に対しては、間接発話場面で罵倒語を使用する傾向にあると言える。

(3) 西門慶は自分よりも年長の女性や男性に対しては、間接発話場面で罵倒語を使用する傾向がある。女性では劉婆さんや薛嫂、薛姑子、男性では宋仁（宋惠蓮の父）が挙げられる。

(4) 西門慶の罵倒対象は、実に様々な属性を持つ人物に及んでいる。そしてそれらの罵倒対象は皆、西門慶よりも身分が低い者になっている。封建的な男性優位の社会において、ある程度身分のある男性は自分の権威を周りに示したり、またそれを守ったりしなければならない。そのため西門慶は自分の権威を誇示するために、多くの対象に対して罵倒語を使用していることが窺える。そして西門慶の罵倒対象におけるその特徴から、罵倒語はやはり発話者から見て、身分の低い対象に対して使用される傾向があると言える。

(5) 直接罵倒表現と間接罵倒表現の両方において、正妻である呉月娘と第二夫人の李嬌児に対しては使用しておらず、第三から第六夫人に対しては多く使用していることが分かる。李嬌児に対する罵倒語の使用が見られなかった理由としては、西門慶に娶られた後は冷遇され、次第に西門慶との関係が疎遠になり会話もほぼ交わさなかったことが挙げられる（注4）。このことから、罵倒語の使用もなかったと推測される。しかし呉月娘に対して罵倒語が使用されなかった理由については、李嬌児とは全く異なっている。その理由としては他の妻（妾）とは違い、呉月娘は正室であり、西家の中において西門慶に次ぐ地位を持ち、そして西家の管理を任されていることが挙げられる。

封建社会において男性は外で仕事をし、女性は家を管理する風習があり、そして呉月娘は西家を管理する上で欠かせない存在となっている。出費の管理や炊事の切り盛り、また他の夫人や使用人たちの仕事の役割を決

めるだけではなく、時には西門慶の仕事に対しても手伝いをしている。西門慶もまた何かがある度に呉月娘に相談し、しかも彼女の意見を非常に重視しているのである（注5）。

既に分かるように呉月娘は、西家の中で重要な存在であり、呉月娘がいなければ西家の存続も危うくなることを想像することができよう。呉月娘は西家の中で重要な役割を担っていて、西門慶もまた呉月娘を尊重し、そして西家における呉月娘の威厳を守るために罵倒語の使用を控えたと見られる。このことから当時（17世紀）の中国における正妻の重要性や威厳の高さ、また西門慶の中に存在する正室と側室に対しての接し方の違いを窺うことができよう。

上記のように罵倒対象を社会的属性また西門慶との関係を基に分類し、そしてその特徴や傾向を見てきた。次はその使用された罵倒語と対象との関係について、見ていきたいと思う。

3. 2. 罵倒語の提示と分類およびその分析

小説の中で西門慶は複雑な人物として描かれていて、その発話の特徴もそれぞれの立場や対象の違いに応じた表現となっている。例えば、妻との親密な場面での発話表現、初対面での礼儀正しく上品な発話表現、また宴会において義兄弟に対する冗談或いは、荒っぽい発話表現などを挙げることができる。そして、これらの発話の特徴は罵倒語にも反映されていて、それぞれの立場や対象の違いに応じた表現となっている。まず使用場面や対象別による、罵倒語の使用状況を見てみたいと思う。

3. 2. 1 罵倒語の対象別の提示およびその分析

その対象別に使用された罵倒語は、下記の表1の通りである。表中に「×数字」があるものはその罵倒語の使用回数を表す。また罵倒語の全文については「付録：西門慶の罵倒語」を参照されたい。

表1 対象別に使用された罵倒語

		直接罵倒表現		間接罵倒表現		
女性	妻	金蓮	贼淫妇×4、淫妇×8、怪小淫妇儿×16、小淫妇儿×11、小淫妇×5、怪奴才×6、淫妇儿、贼小淫妇、贼小淫妇儿、怪小淫妇、怪油嘴×3、小油嘴儿、贼小油嘴儿、怪小油嘴、小油嘴胡说、胡说×3、胡说白道的×2、六说白道、胡枝扯叶的、贼嘴贼舌的、刁嘴、奴才、怪小奴才儿、好奴才、八十岁妈妈没牙、小歪刺骨儿、小歪刺骨儿、怪行货子	妻	金蓮	小淫妇×2、小淫妇儿×6、淫妇、行货子
				李瓶兒	淫妇×5、贼淫妇、贼贼淫妇	
				娘	西門大姐	业障
				女中	惠祥	奴才老婆
				応伯爵の妾	春花	贼拘撮腿的奴才、奴才×5、成精奴才
	女中	李瓶兒	淫妇×2、秘尿、怪奴才	芸妓 愛月 董嬌兒 李桂姐	愛月	小淫妇儿
		玉楼	怪油嘴、贼小肉儿		董嬌兒	小淫妇
		孫雪娥	贼歪刺骨、贼奴才淫妇、好贼歪刺骨		李桂姐	贼小淫妇儿、小淫妇儿
		金蓮、玉楼	粉头		三姑六婆	劉婆さん
	女中	秋菊	贼奴才	三姑六婆 薛嫂 薛姑子	薛嫂	老淫妇
		春梅	怪小油嘴、怪小油嘴儿		薛姑子	贼胖秃淫妇
		夏花兒	奴才×3			
		小玉	贼奴才			
	芸妓	愛月	小油嘴儿			
李桂姐		贼天杀的、胡说				
男性	交友関係	怪狗材×9、怪狗才×4、狗材×13、狗才×5、傻狗材×3、傻狗才、歪狗才、歪狗材、贼狗材、怪狗才东西、贼没行止的狗骨秃、贼天杀的狗材、贼花子×2、花子×2、怪花子、胡说×4、小行货子、傻孩子、贼谄断了肠子的天杀的	下男	画童	小奴才	
			娘婿	来旺兒	厮×2、杀人贼	
			交友関係	陳經濟	业障	
			祝日念	麻子		
			ごろつき	車淡、管世寛	奴才	
	下男	孫賓嘴	天灾人祸老油嘴	その他 韓二 蔣竹山 宋仁 温必古	韓二	少死的花子
		常時節	没的扯淡		蔣竹山	矮王八×4、厮×5、贼矮王八
		鉞安兒	奴才		宋仁	少死光棍
		平安兒	贼奴才×2、奴才×3		温必古	人皮包狗骨东西、狗背石东西、狗粪之人
		琴童	奴才×3、贼奴才			
	ごろつき	書童	贼少打的奴才、贼奴才、小奴才			
		画童	贼奴才			
		車淡、管世寛	光棍×3			
		小張間など	光棍×5			
その他	陳三、翁八	贼人				
	趙先生	叉出去、胡说、厮				
無名氏	胡说					

上記のように、西門慶が対象別に使用された罵倒語を挙げてみた。これらの罵倒語を分類し対象との関係についての詳しい分析を行う前に、まず上記の表から見えてきた顕著な特徴などを述べてみたいと思う。

(1) 西門慶には一部の対象に対して、ある特定の罵倒語を使用する傾向がある。例えば、金蓮に対しての全使用回数が87回のうち、“淫婦”が付く罵倒語の使用回数は57回に上り、応伯爵に対しての全使用回数が53回のうち、“狗才”（“狗材”も含む）が付く罵倒語の使用回数は40回に上る。女中や下男に対しての全使用回数が33回のうち、“奴才、斯”が付く罵倒語の使用回数は29回に上り、またごろつきに対しては、“光棍”が多く使われているのである。以上のように一部の対象に対しては、顕著な使用傾向が現れていることが見て取れる。

(2) 西門慶が使用した罵倒語が持つマイナスイメージは、他の登場人物が使用したものと比べて軽減されたものになっている。川島（2003）では、呉月娘が下男や下女と同じ罵倒語“賊狗攘的”（注6）を使用したことについて次のように述べている。「呉月娘は下男や下女と同レベルの罵倒語を使用しているのである。このような粗野な語を用いることが彼女の口汚さ、乱暴さを表していることは、周囲の反応からも明らかである。」

(P64)

西門慶の罵倒語は対象を売春婦などに喩えるものはあるが、上記のような性行為を意味する罵倒語の使用は見られない。例えば春梅が使用した“賊吞遍街搗遍街的瞎淫婦”や鄆哥が使用した“直我髻髻”、劉二が使用した“我吞你淫婦娘”などのような罵倒語を西門慶は使用していないのである。第12話（注7）の場面で金蓮と琴童が姦通したことを知り、怒り心頭の時ですえ西門慶の罵倒語は“淫婦、賊淫婦、奴才、賊奴才”のような表現になっている。

このように西門慶は、上記のような汚さや乱暴さが強く現れた罵倒語を使用していないことが見て取れるであろう。また使用した罵倒語の半数近くが金蓮或いは義兄弟の応伯爵に集中し、そしてその大多数が金蓮に対しては親密な時、応伯爵に対しては冗談の時に用いられたものになってい

る。

西門慶が使用した罵倒語の中で、マイナスイメージが強く現れていると言えるものは下記のようなものがある。応伯爵に対して使用した“賊恣断了肠子的天杀的”や“贼没行止的狗骨秃”春花に対して使用した“贼拘掇腿的奴才”などを挙げることができよう。このほかには温必古に対して、使用したものもマイナスイメージが強いと言える。川島（2003）では呉月娘が温必古に対して使用した罵倒語について分析を行っているため、そこで西門慶が使用したものと比較してみたいと思う。

呉月娘と西門慶が温必古に対して罵倒語を使用した理由は、同じ事情によるものである。それは温必古という人は男色家であり、下男に手を出したことに由来する。それでは先ずこの時の、呉月娘と西門慶が使用した罵倒語を見てみよう。例文の和訳は、すべて小野、千田（1967）による。

呉月娘の罵倒語の例文：

① “还缠甚么温葵轩、鸟葵轩哩！平白安扎恁样行货子，没廉耻！传出去教人家知道，把丑来出尽了！”（第76話）

（温葵軒や、くそ葵軒なんかにたのむなんて、とんでもないことだわ。あんな恥知らずなしろものをむやみに家に置いといて、事が洩れて、人に知られた日には、いい恥じっさらしよ）

西門慶の罵倒語の例文

② “…我把他当个人看，谁知人皮包狗骨东西，要何用？”（第76話）

（おれはあいつを人間として扱っていたが、何ぞ料らん、あいつは人間の皮をかぶった犬の骨だったのだ。あいつなんぞに、なんの用があるう）

温必古に対する西門慶の罵倒語は、この例語以外にも“狗背石东西”や“狗粪之人”がある。呉月娘の“鸟”（男性生殖器の俗名）を使った罵倒語と比べて、西門慶のものは呉月娘のものよりも表現の過激さが低いと言えるだろう。川島（2003）によると、この時の呉月娘の罵倒語からは温必古がしたことに対する激しい嫌悪感が窺え、罵倒語が使用された背景には、家の体面を保護しなければならないというものが見える。恐らく西門慶にも、このことが言えるだろう。

しかし両者の罵倒語の使用背景は同じであるにも関わらず、西門慶のものは違った表現方法となっていることが見て取れる。そして今まで述べてきたことから西門慶の罵倒語は、他の者が使用したものよりもマイナスイメージを抑えた表現になっていると主張することができよう。

(3) 直接罵倒表現の罵倒語には、対象を「呼びかける」という使用傾向がある。直接罵倒表現においては発話行為の最初で罵倒語を使用し、間接罵倒表現においては罵倒対象に関する、または対象を指し示す事物を発話した後に、罵倒語を使用する傾向がある。つまり間接罵倒表現においては聞き手に自分が、誰に対して罵倒語を使用するのかを知らせてから、罵倒語を用いているのである。それでは、両者の代表的な例文を見てみよう。また「→」の右側は罵倒対象を表す。

直接罵倒表現の特徴を表す例文：

③ “狗材，过来！我说与你罢。…”（第67話）「→応伯爵」

（じゃ、いって聞かせてやろう。）

④ “淫妇，你想我不想？”（第79話）「→金蓮」

（すべた、おれをいとしく思うか）

間接罵倒表現の特徴を表す例文：

⑤ “…若嫁了别人，我到罢了。那蒋太医贼矮王八，那花大怎不咬他下截来？…”（第18話）「→蒋竹山」

（これがほかの男のところへいったのならまだしも、あの蒋太医のちび助のところへいきやがったんだ。花大はなんだってあいつのあれをかみ切ってやらないんだろう。）

⑥ “那个是薛姑子，贼胖秃淫妇，来我这里什么？”（第51話）「→薛姑子」

（あれは薛尼だな。デブの青坊主のあばずれ女め、うちへなにしにきやがったんだ）

上記の例文のように罵倒語は、直接罵倒表現においては③、④のように対象を呼びかけるような表現方法で使用され、間接罵倒表現においては⑤、⑥のように対象を指し示す事物を発話した後に使用されていることが分かる。それではその直接と間接罵倒表現における、罵倒語の使用傾向を

見てみよう。

表2 発話行為における罵倒語の使用傾向

	全罵倒発話行為	発話行為の最初で罵倒語使用
直接罵倒表現	156回	87回 (56%)
間接罵倒表現	56回	2回 (4%)

上記の表から分かるように直接罵倒表現における罵倒語の使用は、半分以上が発話行為の最初に使用されていることが分かる。そしてこの傾向から判断すれば、直接罵倒表現の時の罵倒語には「呼びかけ」の要素が備わっていることが見て取れる。それでは、この「呼びかけ」にはどのようなものがあるのかを見てみよう。

田中 (1996) によれば、「呼びかけ」は大きく三つに分類される。その三種類とは「代名詞による呼びかけ」(あなた、きみ)、「動詞形に表れた呼びかけ」(どこへ行くの?、来なさい)、そして「名詞による呼びかけ」である。「名詞による呼びかけ」はさらに幾つかに分けられ、その中に「愛称」という項目が挙げられている(注8)。この愛称についての説明では「愛称を大きく二つに分けることができ、一つは個人名の一部を略した、または変化させた呼び名。例えば「だいすけ→だいちゃん」、「ようこ→ようちゃん」などのように実名を変化させたものである。もう一つは、個人名とは関係のない、その人の特徴を捉えて付けた呼び名。例えば「夏みかん」「スマイル」「ふとっちょ」「かば」などのように、いずれも実名とは関係がなく、その人の特徴からつけられた愛称であり、また中には意味が分からないものもある。」(P121 参照)

この後者の個人名と関係のない、その人の特徴を捉えて付けた呼び名こそ、直接罵倒表現の時の罵倒語に備わっている「呼びかけ」の性質と符合するものと言える。

3. 2. 2. 罵倒語の分類およびその分析

作者は写実的な手法で西門慶の性格の多様性を表面上に浮かび上がらせ、人間性豊かな人物として形作っている(注9)。既に述べたように西門慶は、作品の中で商人、官僚、夫など様々な社会的属性を持つ人物として描かれ、それぞれの立場や場面、対象に対応した考え、行動をしているのである。このような人間性豊かな西門慶は、その言語においてもそれぞれの立場や場面、対象に応じて使い分けをしている。そして上記の表1からも分かるように、罵倒語にも場面や対象別に使い分けがされているのである。

これからその罵倒語の分類を行い、対象との関係について分析を進めて行く。罵倒語の分類基準は、罵倒語(罵倒語を形成している語彙)が持つ意味または含意に基づいて分類する。そのため複数の種類の要素を持つ罵倒語に対しては、それぞれの種類に提示する。そして西門慶の罵倒語に、どのような種類が存在するのかを明らかにし、それから使用場面や対象と対応させその分析を行う。

このように罵倒語をその意味特徴から観察した結果、以下のような罵倒語の種類が現れた。また罵倒語の種類別および対象別に、罵倒語を挙げたものについては「付録：種類別の罵倒語」を参照されたい。

表3 西門慶の罵倒語の種類

(1)「売春婦」類 例語：淫婦、 <u>賊淫婦</u> 、 <u>怪小淫婦儿</u> 、 <u>粉头</u>	(2)「下僕」類 例語：怪奴才、 <u>好奴才</u> 、 <u>怪小奴才儿</u> 、 <u>贼奴才</u>
(3)「盗人」類 例語： <u>贼淫婦</u> 、 <u>贼小淫婦</u> 、 <u>贼花子</u> 、 <u>贼狗材</u>	(4)「“小”“儿”」類 例語： <u>怪小淫婦儿</u> 、 <u>小淫婦儿</u> 、 <u>小淫婦</u> 、 <u>小奴才</u>
(5)「妻を寝取られた男」類 例語： <u>矮王八</u> 、 <u>贼矮王八</u>	(6)「嘘つき」類 例語： <u>怪油嘴</u> 、 <u>胡说白道的</u> 、 <u>胡说</u> 、 <u>六说白道</u>
(7)「愚鈍」類 例語： <u>傻狗材</u> 、 <u>傻狗才</u> 、 <u>傻孩子</u>	(8)「変人」類 例語： <u>怪奴才</u> 、 <u>怪油嘴</u> 、 <u>怪狗才</u> 、 <u>怪花子</u>
(9)「捻くれ者」類 例語： <u>贼歪刺骨</u> 、 <u>歪狗材</u> 、 <u>歪狗才</u>	(10)「物品」類 例語： <u>小行货子</u> 、 <u>怪狗才东西</u> 、 <u>狗背石东西</u>
(11)「人体的特徴（欠陥）」類 例語： <u>矮王八</u> 、 <u>贼矮王八</u> 、 <u>麻子</u> 、 <u>贼胖秃淫婦</u>	(12)「ならず者」類 例語： <u>少死光棍</u> 、 <u>光棍</u>
(13)「死」類 例語： <u>贼天杀的</u> 、 <u>少死光棍</u> 、 <u>少死的花子</u>	(14)「こじき」類 例語： <u>花子</u> 、 <u>贼花子</u> 、 <u>怪花子</u>
(15)「年寄り」類 例語： <u>老淫婦</u>	(16)「災害」類 例語： <u>天灾人祸老油嘴</u>
(17)「妖怪」類 例語： <u>成精奴才</u>	(18)「犬」類 例語： <u>怪狗材</u> 、 <u>怪狗才</u> 、 <u>狗材</u> 、 <u>狗粪之人</u>
(19)「子供」類 例語： <u>傻孩子</u>	(20)「駆逐」類 例語： <u>叉出去</u>
(21)「仏教用語」類 例語： <u>业障</u>	(22)「“好”」類 例語： <u>好奴才</u> 、 <u>好贼歪刺骨</u>

上記のように西門慶の罵倒語には実に様々な種類があり、そして全部で22種類が存在することが見て取れる。それでは西門慶が誰に対してどのような罵倒語を使用したかについて、対象別に挙げてみたいと思う。下記の表における種類の提示については、分析をする上で分かりやすくするため使用されなかった種類を省き、またその提示の順番も上記の表3とは不同である。

表4 直接罵倒表現における対象別で使用された罵倒語の系統

		ならず者類	驅逐類	“好”類	売春婦類	下僕類	盗人類	“小、儿”類	嘘つき類	変人類	捻くれ者類	物品類	死類	こじき類	犬類	子供類	愚鈍類	災害類	種類の数	
女性	妻	玉楼					●	●	●	●									4	
		孫雪娥			●	●	●	●				●								5
		金蓮			●	●	●	●	●	●	●	●	●							9
		李瓶兒				●	●				●									3
		金蓮、玉楼				●														1
	女中	秋菊					●	●												2
		春梅							●	●	●									3
		夏花兒					●													1
		小玉					●	●												2
	芸妓	愛月							●	●										2
李桂姐							●		●				●						3	
男性	交友	応伯爵					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11	
		孫賓嘴							●									●	2	
		常時節							●										1	
	下男	鉞安兒					●													1
		平安兒					●	●												2
		琴童					●	●												2
		書童					●	●	●											3
		画童					●	●												2
		ごろつき	車淡、管世寛	●																
	小張間など		●																	1
	陳三、翁八							●												1
	その他	趙先生		●			●			●										3
無名氏									●										1	
罵倒対象の人数		2	1	2	4	12	12	6	10	5	3	2	2	1	1	1	1	1		

表5 間接罵倒表現における対象別に使用された罵倒語の系統

			仏教用語類	妖怪類	年寄り類	売春婦類	下僕類	盗人類	“小、儿”類	嘘つき類	物品類	人体的特徴類	死類	妻を寝取られた男類	ならず者類	こじき類	犬類	種類の数		
女性	妻	金蓮				●			●		●							3		
		李瓶児				●		●											2	
	娘	西門大姐	●																1	
	女中	惠祥				●	●												2	
	応伯爵の妾	春花		●			●	●											3	
	芸妓	愛月				●				●										2
		董嬌児				●				●										2
		李桂姐				●			●	●										3
	三姑六婆	劉婆さん				●	●				●									3
		薛嫂				●	●													2
		薛姑子				●			●				●							3
	男性	下男	画童					●		●										2
来旺児								●	●											2
娘婿		陳経済	●																1	
交友		祝日念										●							1	
ごろつき		車淡、管世寛					●												1	
その他		韓二												●				●		2
		蔣竹山						●	●				●		●					4
		宋仁												●		●				2
	温必古										●						●		2	
罵倒対象の人数			2	1	2	9	6	6	5	1	2	3	2	1	1	1	1			

上記のように判明した罵倒語の種類を対象別に挙げ、そして観察したところ下記の一つの特徴や傾向が現れた。

(1) 上記の表4から分かるように、妻全員に対してそうだが、その中でも最も親しくしている金蓮、或いは交友関係の中で最も親しくしている応伯爵に対して、多種多様な罵倒語が使われている。金蓮と応伯爵に対して使用された罵倒語の種類数は、他の対象とは明らかに違っている。こ

これは表1から見て取れるように、金蓮や応伯爵に対して使用された罵倒語の数の多さにも要因があるだろう。上にも挙げたようにこの両者に対しての罵倒語は、その大多数が金蓮に対しては親密な時、応伯爵に対しては冗談の時に使用されたものになっている。

そして表1、4の二つの表における特徴からは、次のようなことを主張することができる。つまり西門慶は直接罵倒表現において、自分と極めて親しい関係にある相手に対しては、罵倒語を多く使用する傾向があり、且つそれらの罵倒語は多種多様で表現性に富んだものとなっている。

(2) 社交上の相手のその発話に対しては、「嘘つき」の意味を持つ罵倒語が使用される傾向がある。上記の表4から分かるように、この罵倒語の使用は社交を必要とする対象の「芸妓」や「交友関係」に集中して使用されている。このことから西門慶は社交上の相手に対しては、その発話の不誠実さを表す「嘘つき」の意味がある罵倒語を使用する傾向にあると言えるだろう。

(3) 直接や間接罵倒表現において女中や下男に対しては、その社会的属性を表した「下僕」の意味を持つ罵倒語が使用されている。上記の表4、5からも分かるように、社会的身分が使用人に属している相手に対しては、下僕の意味を持つ罵倒語が使われる傾向があり、その中、下男に対しては「盗人」の意味を持つ罵倒語も使われる傾向がある。このことから西門慶は使用人に対しては、その社会的属性を表した罵倒語の使用傾向があり、また下男に対しては盗人に喩える傾向もあると言える。

だが表4から使用人の中で唯一女中の春梅に対しては、下僕の意味を持つ罵倒語が使われていないことが見て取れる。これについては石、尹(1988)の春梅について述べた内容から説明することができる。春梅は西家の中では特殊な地位にあり、その美貌から西門慶の寵愛を受け、また金蓮は西門慶を丸め込むために彼女を人一倍に引き立てている。またあることで呉月娘が西門慶に春梅を叱り付けるように言ったにもかかわらず、西門慶は逆に春梅を守る言動に出たのである。

この石、尹(1988)の春梅に対しての説明から、春梅は西門慶の中では

特別な存在であることが分かる。そして西門慶は春梅を使用人と区別するため、下僕の意味を持つ罵倒語を敢えて使用しなかったことが想像できる。その代わりに使用人に対して使用されていない“怪…”（変人）の意味を持つ罵倒語や、社交上の相手に対して使用傾向のある“胡说”（嘘つき）の意味を持つ罵倒語などが使用されている。

（4）ごろつきに対しては、その社会的属性を表した「ならず者」と「盗人」の意味を持つ罵倒語が使用されている。上記の表4から分かるように、ごろつきに対しては彼らの社会的属性を表した罵倒語しか使用されていないことが分かる。表5ではごろつきに対して下僕の意味をする罵倒語が使用されているが、これもやはり社会的属性の低さを意味する罵倒語となっている。そして上記の（3）の傾向とこのごろつきに対しての傾向から、西門慶は身分の低い者に対しては彼らの社会的属性を表した、また身分の低さを意味した罵倒語の使用傾向があると言える。

（5）妻以外の女性に対しては、直接罵倒表現では「売春婦」の意味を持つ罵倒語が全く使用されていないのに対し、間接罵倒表現では使用されている。表4、5から分かるようにその罵倒対象が何人かの妻よりも親しくしている芸妓、または身分の低い女中であっても、直接罵倒表現においては「売春婦」の意味をする罵倒語の使用はなく、間接罵倒表現においてのみ使用されている。

このことから西門慶は自分から見て相手がどのような属性の女性（極めて親しい関係の女性、身分の低い女性）にせよ、この「売春婦」の意味がある罵倒語を妻以外の女性に対しては、直接使用しない傾向があると言える。そしてこの傾向から西門慶が妻とそれ以外の女性に対しての、接し方の一側面を窺うことができるであろう。

（6）間接罵倒表現において、女性に対して「売春婦」の意味を持つ罵倒語が使用される傾向のある中で、娘と春花（応伯爵の妾）に対しては使用していないことが分かる。まず自分の娘に対して、このような罵倒語を使用することは考えにくいという観点から、娘に対して使用されなかったことは理解できる。しかし春花は西門慶の娘ではないにも関わらず、春花

に対しては使用されていない。これには第三者の存在が大きく関わっている。なぜなら春花に対して使用された罵倒語は、すべて応伯爵を目の前にして使用しているからである。

つまり応伯爵に気を使って、春花に対して売春婦の意味のある罵倒語を使用しなかったことが窺える。そして上記の(5)の傾向とこの傾向から西門慶は罵倒語を使用する上で、状況(対象との関係、第三者の存在など)を見きわめ、それに合った罵倒語を使用していると言えるだろう。

(7)表5から西門慶には、相手もっている特徴の要素を罵倒語に用いて使用する傾向があることが見て取れる。例えば劉婆さんや薛嫂に対しては「年寄り」の意味を持つ罵倒語が使われ、薛姑子や祝日念、蔣竹山に対しては「身体的特徴(欠陥)」の意味を持つ罵倒語が使われている(注10)。そのほか蔣竹山に対しては、「妻を寝取られた男」の意味を持つ罵倒語も使われているのである。

直接罵倒表現で相手の特徴のある事物に比喻する罵倒語の使用は見られるが、相手が実際に持っている特徴の要素(社会的属性を除く)を用いての罵倒語の使用は見られない。この相手の特有の要素を罵倒語に用いる傾向は、間接罵倒表現においてのみ現れているのである。

(8)直接罵倒表現では親しい関係の相手に、多種多様な罵倒語が使われているのに対して、間接罵倒表現では憎しみを強く持っている相手に、多種多様な罵倒語が使われている。これは蔣竹山に対して使用された罵倒語から、この傾向を窺うことができる。その西門慶が蔣竹山に対しての罵倒語の使用は、李瓶児と蔣竹山が結婚したことを知った時から始まる。その時の例文を一つ挙げる。

⑦叫道“苦哉！你嫁別人，我也不惱。如何嫁那矮王八！他有甚么起解？”(第18話)

(ちくしょう、ほかの男のところへ嫁にいったのなら、おれも怒りはせんが、あのちび助の忘^{フンバ}八のところへいくことは何事だ。あいつになんのとりのえがあるんだ)

この例文から、蔣竹山に対する西門慶の怒りや憎しみが読み取れるであ

ろう。上記の例語以外には“厮、賊矮王八”があり、そして表5からは、間接罵倒表現の対象の中において最も多くの罵倒語の種類が使われていることが分かる。それらは西門慶が使用人に対して使用する傾向のある下僕と盗人の意味を持つものや、人体的特徴を表すもの、又は妻を寝取られた間抜けな男を意味するものとなっていることが分かる。また3.2.1 (2) に挙げた温必古に対する罵倒語も、この傾向を示していると言えるだろう。

直接罵倒表現における怒りや憎しみの時の罵倒語は、上にも挙げたように、金蓮と琴童が姦通したことを知った時に使用された“淫婦、賊淫婦、奴才、賊奴才”などがある。既に分かるようにこの時に使用された罵倒語は、蔣竹山に対して使用したものよりもその罵倒語の種類は少なく、そして温必古に対して使用したものよりもその表現が単純なものになっているのである。このことから上記の(1)で述べた傾向と逆に西門慶は、間接罵倒表現では怒りや憎しみを強く持っている相手に対して、多種多様な罵倒語を用い、その表現の過激さも増す傾向があると言える。

(9) 直接罵倒表現では「下僕」、「盗人」、「嘘つき」類、間接罵倒表現では「売春婦」、「下僕」、「盗人」類が多くの対象に対して使われている。そして直接と間接罵倒表現において、共に「下僕」と「盗人」類が多くの対象に対して使われていることが分かる。その「下僕」類は妻や使用人にその使用が集中するのに対して、「盗人」類はある種類の対象に集中して使用する傾向はなく、その対象は妻、使用人、芸妓、交友関係など幅広く様々な対象に対して使用されていることが判明した。このことから「盗人」類の罵倒語は、様々な属性を持つ対象に対して使用することができ、そしてその使用場面にも影響されないと言えよう。

4. まとめ

以上のように西門慶の罵倒語について考察したことを、次のようにまとめることができる。

(1) 使用場面における傾向

直接罵倒表現においては、西門慶との上下関係が明確に表れた対象が多く占め、間接罵倒表現においては、その上下関係が明確でない対象が多く占めている。このことから直接罵倒表現と間接罵倒表現における対象の違いは、西門慶との上下関係に影響されることが分かった。

また直接罵倒表現においては、親しい対象に対して多種多様な意味合いを持ち合わせた罵倒語が使われ、間接罵倒表現においては、怒りや憎しみを強く持った対象に対して多種多様な罵倒語が使用されていることが判明した。そして妻以外の女性に対しては、たとえそれが女中または芸妓であろうと、直接罵倒表現では「売春婦」の意味がある罵倒語を用いず、間接罵倒表現においてのみ使用していることも判明した。

その他には、直接と間接罵倒表現における罵倒語の使用傾向から、直接罵倒表現の時の罵倒語には「呼びかけ」の要素が備わっていることを見いだした。そして田中（1996）からこの時の罵倒語の用法は、「名詞による呼びかけ」時の対象の個人名とは関係のない、その人の特徴を捉えて付けた呼び名での呼びかけの用法に属することが分かったのである。

（2）罵倒対象における傾向

西門慶は対象の社会的属性や特徴などの要因によって、罵倒語を使い分けることが判明した。例えば、使用人やごろつきに対しては、彼らの社会的属性の低さを表した罵倒語が使われ、社交上の相手に対してはその発話の不誠実さを表す「嘘つき」類の罵倒語が使われている。そして対象と西門慶の関係を観察したところ、罵倒語の使用はやはり発話者から見て、身分の低い対象に対して使用される傾向があると言える。

また一部の対象に対してはある種類の罵倒語の使用傾向があり、ある対象に対しては彼らが持っている特有の要素や特徴を用いた、罵倒語の使用も見られている。その他には西門慶と対象のその関係によって、罵倒語の使用傾向をもたらしていることが判明した。例えば、正妻の呉月娘が西家におけるその重要性から、呉月娘の威厳を守るために罵倒語の使用が見られなかった。また女中の春梅はその美貌により西門慶の寵愛を受けていたことから、使用人に対して使用傾向のある「下僕」類の罵倒語は、春梅

には使用しなかったのである。

(3) 使用者の個人差

同じ背景によって使用された西門慶と呉月娘の罵倒語を観察したことにより、罵倒語の使用には個人差が存在することが明らかになり、また西門慶の罵倒語はほかの登場人物が使用したものよりも、その表現の過激性を押さえた表現になっていることも明らかになった。例えば、ほかの登場人物がよく用いられている性的行為のイメージを持つ罵倒語の使用は、今回の調査では一回も見られなかったのである。

西門慶は元々落ちぶれた家の出身であり、また特に教養もなく、字も少ししか読めなかった。このような出身で教養もない西門慶の人品とその言語（罵倒語）がいかにして、他の人物と違いが生じたかについて、石、尹（1988）を参考にして説明することができる。西門慶は財力が増すにつれ、その力も次第に増し、そしてその財力で官吏の職をも手に入れた。このことにより西門慶の行為や言動は、次第に身分の低い者の水準を超越したものとなったのである。この説明から、西門慶に過激性を押さえた罵倒語の使用をもたらした、その原因を読み取ることができるであろう。そしてこのことから罵倒語の使用は、その使用者の社会的立場と深く関係していることが窺える。

(4) 罵倒語の種類から見た特徴

罵倒語の種類の違いからその罵倒対象の人数を観察したところ、直接と間接罵倒表現に共通して「下僕」と「盗人」類が多くの対象に対して、使用されていることが分かった。その「下僕」類は妻や使用人に使用が集中するのに対して、「盗人」類は妻、使用人、芸妓、交友関係など様々な対象に対して使用されていたのであった。このことから、「盗人」類の罵倒語は様々な属性を持つ対象に対して使用することができ、そしてその使用場面にも影響されないことが判明したのである。

今回の研究を通して、使用者の立場または使用場面や対象の違いなど様々な要素が、罵倒語の使用に影響を与えていることが明らかになった。

そして使用者の個人個人に独自の使用傾向や特徴が存在し、そこからはその使用者の性質や人格を窺うことができるという一側面も浮かび上がったのである。今回は西門慶の罵倒語を研究してきたが、今後ほかの登場人物の罵倒語についても研究してみたいと思う。

原注

- 注1：本論文で使用するテキストは『金瓶梅詞話』増你智文化事業有限公司出版1980年とし、罵倒語の用例はすべてこのテキストによるものである。
- 注2：作品の中では職名「節級」で表記され、氏名はなし。
- 注3：“三姑六婆”とは正業に務めない女または巧言でよくないことをする女をいう。昔は主に「尼さん」「縁談を取り持ちする女性」「女八卦見」「巫女」「産婆」「やりてばば」などを指す。
- 注4：何、李（1992）P452参照。
- 注5：何、李（1992）P451参照。
- 注6：この場合の“攬”は、現代で言うところ“禽”（性行為の意「犯す」）と同じ意味である。
- 注7：出版されたテキストでは物語を「回」でもって分けているが、本論においてこの「回」は罵倒語の使用回数と混同する恐れがあるため、すべて「話」でもって表記する。
- 注8：「愛称」以外の項目には、「個人名」、「敬称」（さん、さま、くん、ちゃん）、「親族用語名」（お父さん、お母さん、お姉ちゃん）、「称号」（先生、部長、市長）、「職業名」（電気屋〔さん〕、運転手〔さん〕、駅員〔さん〕）、「愛情の呼びかけ」（英語の honey、darling、dear、日本語では〔ねえ、あなた〕が代用される）、「Sir, Ma' am と、だんな、奥さん」、「Excellency と閣下」、「人間関係を表す呼び方」（トルコ語の arkadas〔友達〕、ドイツ語の kollege〔同僚〕、日本語では〔先輩、お隣さん〕がある）、「親族名の応用名」（アラビア語の abu A:li〔Aliの父〕、英語の John Smith, Jr〔John Smith 2世〕、日本語では有名人の息子のことを〔長

島ジュニア}と呼ぶものもある)などを挙げている。

注9：何、李(1992) P455参照。

注10：劉婆さんや薛嫂に対しては年寄りの意味をする“老”が使われ、薛姑子(尼さん)に対しては剃髪された頭を表した“秃”が使われている。祝日念に対しては顔のあばたを表した“麻子”が使われ、蔣竹山に対しては身長の高さを表した“矮”が使われている。

参考文献

- 小野 忍、千田九一訳. 1967. 『金瓶梅』(上、中、下). 平凡社
何 満子、李 時人. 1992. 『明清小説鑑賞辞典』 浙江古籍出版社
川島優子. 2003. 『金瓶梅』罵詈雑言—月娘の罵詈雑言について—. 中国古典小説研究. 第8号
蔡 国栗選編. 1986. 『金瓶梅評注』. 漓江出版社
徐 朔方、劉 輝. 1986. 『金瓶梅論集』 人民文学出版社
曹 焯. 1997. 『《金瓶梅》文学語言研究』 江蘇教育出版社
石 昌渝、尹 恭弘. 1988. 『《金瓶梅》人物譜』 江蘇古籍出版社
田中春美、田中幸子. 1996. 『社会言語学への招待—社会・文化・コミュニケーション—』 メネルヴァ書房
陶 慕宁. 1993. 『金瓶梅中の青楼与妓女』 文化藝術出版社

付録：

[1] 西門慶の罵倒語

以下の提示は「2. 研究方法」において設定した分類方法に従い、西門慶が使用した罵倒語を提示する。また例文の後ろの「→」の右側は罵倒対象を意味している。

直接罵倒表現—〈女性〉—妻：

11話：“好似一对儿粉头，也值百十银子”→金蓮、玉楼

“贼歪刺骨！我使他来要饼，你如何骂他？…”→孫雪娥

“贼奴才淫妇！你还说不欺负他？亲耳朵听见。”→孫雪娥

“好贼歪刺骨! 我亲自听见你在厨房里骂, 你还搅缠别人; …!”

→孫雪娥

12話; “淫妇, 脱了衣服跪着!” →金蓮

“贼淫妇, 你休推睡里梦里, …, 他一一都供出来了! …?”

→金蓮

“贼淫妇! 有人说你把头上金裹头簪子两三根, 都偷与了小厮, 你如何不认?” →金蓮

“淫妇果然与小厮有首尾没有? 你说饶了淫妇我就饶了罢!” →金蓮

“贼淫妇, 你真个不脱衣裳, 我就没好意思了!” →金蓮

“小油嘴儿, 你不要管他。你只递马鞭子与我, 打这淫妇” →金蓮

13話; “怪小淫妇儿, 麻犯人死了。…” →金蓮

18話; “怪小淫妇儿! 你达达睡睡, 就搨混死了。” →金蓮

19話; “淫妇! 你既然亏心, 何消来我家上吊? …? 我又不曾把人坑了你什么, 缘何流那毡尿怎? …!” →李瓶兒

“淫你过来, 我问你, 我比那蒋太医那厮谁强?” →李瓶兒

20話; “罢麼! 小淫妇儿! 只顾问什么! 我有勾当哩, 等我回来说。”

→金蓮

“你这个淫妇, 单管爱小便盒儿, 随处也搨个尖儿。” →金蓮

“这小淫妇儿, 单只管你胡说!” →金蓮

21話; “你休听那淫妇儿, 他哄你, 已是递过一遍酒罢了! ; 递几遍儿?”

→金蓮

“你这小淫妇, 单管胡枝扯叶的。” →金蓮

“怪小淫妇儿猛可諛我一跳! 你每在门首做什么来?” →金蓮

“你不知道这淫妇, 单管叫群儿。” →金蓮

22話; “怪小淫儿! 悄悄儿罢, 休要嚷的人知道。…” →金蓮

27話; “贼小淫妇! 这上头也搨个先儿!” →金蓮

“这小淫妇! 单管咬蛆儿!” →金蓮

“你这小淫妇儿, 单管只胡说白道的!” →金蓮

“我把这小淫妇, 不看世界面上, 就昏死了。” →金蓮

“怪奴才!单管只胡说。谁和他有甚事!” →金蓮

“怪小淫妇儿, 休胡说!” →金蓮

“淫妇,我丢与你罢。” →金蓮

“小淫妇, 你知道, 就好说话了。” →金蓮

28話; “怪奴! 丢开手罢了。我那里有这个心?” →金蓮

“罢了, 怪小淫妇儿! 偏有这些儿的。…” →金蓮

34話; “好奴才, 恁大胆, 来家就不拜我拜儿。” →金蓮

35話; “你这小油嘴胡说? 我那里有此勾当!…” →金蓮

38話; “怪小淫妇儿, 怎的两三转请着你不?” →金蓮

“怪奴才, 八十岁妈妈没牙, 有那些唇说的!…” →金蓮

“怪奴才, 你好好儿的, 怎的不好?…” →金蓮

40話; “贼小油嘴儿, 去处掐个尖儿。” →金蓮

41話; “贼淫妇, 还不过去, 人这里说话, 也插嘴插舌的, 有你什么说处!” →金蓮

43話; “…! 不看世面上, 把你这小歪刺骨儿, 就一顿拳头打死了!…”

→金蓮

“你有这原来小歪刺骨儿, 这等刁嘴, 我是破纱帽穷官, …!”

→金蓮

50話; “怪奴才, 你达心里要和你睡睡儿。” →李瓶兒

51話; “小淫妇儿! 你过来! 你若有本事把他啞过了, 我输一两银子与你。” →金蓮

“怪小淫妇儿! 会张致死了?” →金蓮

52話; “藩五儿, 小淫妇儿, 你好生浪浪的叫着达达, …。” →金蓮

53話; “这个是小淫妇了!” →金蓮

“怪油嘴, 专要歪斯缠人!” →金蓮

“怪行货子, 怎的夜夜干卜卜的, 今晚里面有些湿答答的。…?”

→金蓮

61話; “怪小奴才儿, 单管胡说! 今日他男子汉陪我坐, 他又没出来。”

→金蓮

- “怪小淫妇儿，单管胡说白道的！那里有此勾当？” →金蓮
- “小淫妇儿，你怕我不怕？再敢无礼不敢？” →金蓮
- 67話； “怪奴才，我平白怎的哭？” →金蓮
- “怪小淫妇儿，又六说白道起来！” →金蓮
- “怪小油嘴，你有这些贼嘴贼舌的。” →金蓮
- 72話； “怪油嘴，这一家虽是有他们，谁不知我在你身上偏多。” →金蓮
- “怪小淫妇儿，有这些张致的！” →金蓮
- “你这小淫妇儿，原来就是六礼约！” 金蓮
- 73話； “怪奴才，我只知道，那里晓的什么？” →金蓮
- “怪小淫妇儿，胡说了！我在那里说道这个话来？” →金蓮
- “怪小淫妇儿，如何这咱才来？” →金蓮
- 74話； “怪小淫妇儿，你不若啞啞的过了，是你造化。” →金蓮
- “怪小淫妇儿，你有什么事说不是？” →金蓮
- “贼小淫妇儿！单管爱小便盒儿。…！” →金蓮
- “小淫妇儿，好生裹紧着，我待过也，…” →金蓮
- 75話； “怪小淫妇儿，琐碎死了！” →金蓮
- “怪油嘴，就奚落我起来！” →玉楼
- “你听那小淫妇儿，他勉强着，紧处他就慌了。…” →金蓮
- “且住，贼小肉儿！不知替我拿下了曾没有？” →玉楼
- 76話； “怪油嘴，休要胡说！” →金蓮
- “也吃我把奴才拶了几拶子好的，为你这奴才，一时小节不完，丧了两个人性命。” →金蓮
- 78話； “这个小淫妇儿，三句话就说下道儿去了。” →金蓮
- 79話； “淫妇，你想我不想？” →金蓮
- “小淫妇儿，你达达今日醉了，收拾铺我睡也。” →金蓮
- “怪小淫妇，只顾问怎的？你又教达达摆布你？…” →金蓮
- 女中：
- 44話； “是头里不见了的那锭金子。寻不见，原来是你这奴才偷了！”
→夏花儿

“明日叫媒人，即时与我拉出去卖了。这个奴才，还留着做什么”

→夏花兒

45話；“即是你恁说，留下这奴才罢” →夏花兒

53話；“贼奴才，现今叫大娘只是不应” →小玉

76話；“贼奴才，好干净儿！如何教他拿茶？” →秋菊

“怪小油嘴，你怎的不起？” →春梅

“怪小油嘴儿，谁教你不吃些甚么儿！” →春梅

芸妓：

12話；“你这贼天杀的，单管弄死了人！紧着他恁麻犯人，你又胡说”

→李桂姐

77話；“小油嘴儿，你倒和李桂姐两个，把应花子打的好响瓜儿。” →愛月

〈男性〉—交友關係：

15話；“老妈，你休听这天灾人祸老油嘴，弄杀人你！” →孫賓嘴

16話；“怪狗才！休要唱扬一地里知道。” →応伯爵

20話；“你这狗才，单管胡说！” →応伯爵

32話；“且教他孝顺尊众亲两套词儿着。你这狗才，就是这等摇席破坐的！” →応伯爵

“你这狗才，头里嗔他唱，这回又索落他！” →応伯爵

“你这狗才！单关这胡说。” →応伯爵

“怪狗才东西！教他递酒，你闹他怎的？” →応伯爵

35話；“傻狗才，那里有一个螃蟹？…” →応伯爵

“你这狗材！专一歪厮缠人！” →応伯爵

“怪狗才，忒韶刀了！” →応伯爵

“你这歪狗才！狗口里吐出什么象牙来！” →応伯爵

45話；“你们贼狗材！单管只个说白道的！” →応伯爵

46話；“怪不的你这狗材，行记中人，只护行记中人，又知这当差的苦甘” →応伯爵

52話；“怪狗材，看误了孩儿！” →応伯爵

“贼没行止的狗骨秃！明日才先与二百五十两。…” → 応伯爵

“怪狗才，充军摆战的不过！…” → 応伯爵

“怪狗材，还没供养佛，就先挝了吃！” → 応伯爵

“你这狗材，到明日论个男盗女娼，还亏了原问处。” → 応伯爵

“怪狗材！快出去罢了，休鬼混！我只怕小厮来看见。” → 応伯爵

“怪狗材，还不带上门哩。” → 応伯爵

“怪狗材，等住回，我与你就是了，又来缠人！” → 応伯爵

“怪花子，你害了痞！如何只鬼混人！” → 応伯爵

“怪狗材，都拿与他吃罢了，又留下做甚么？” → 応伯爵

54話；“我们与那花子赌了。只说过了日中，董娇儿不来，各罚主人三大碗。” → 応伯爵

60話；“怪狗材，休要胡说。” → 応伯爵

“我罚你这狗材，一个出位妄言！” → 応伯爵

“你这狗材，到明日只好做个韶武。” → 応伯爵

“拿磕瓜来打这贼花子。” → 応伯爵

“你这贼谄断了肠子的天杀的，谁家一个手去斗狗来！…？”

→ 応伯爵

61話；“没的扯淡！那里又费他的事起来？…” → 常時節

“你这歪狗材，不要恶识他便好！” → 応伯爵

“你这花子，单管只害谄。倒是个女先生。” → 応伯爵

“今日你众娘每，大节间叫他来赏重阳顽耍。偏你这狗材耳朵内听的见。” → 応伯爵

66話；“老先生他自有个主意，你这狗才晓的甚么？” → 応伯爵

67話；“怪狗才，你害馋痲馋痞，留些儿与我见见儿，也是人心！” → 応伯爵

“温先儿在此，我不好骂出来。你这狗材，或不相模样！” → 応伯爵

“怪狗材，小行货子，也不吃的，只恁奈何他吃！” → 応伯爵

“这狗材，单管胡说。” → 応伯爵

“狗材，过来！我说与你罢。…” → 応伯爵

“你这狗材，单管胡说。” → 応伯爵

“傻狗材，生了儿子倒不好，如何反恼？” → 応伯爵

“…。你这狗材，到底占小便盒儿！” → 应伯爵

“傻孩子，谁和你一般讨较？” → 应伯爵

68話；“怪狗才，前边去罢，丢的葵轩和银姐在那里，都往后头来了。”

→ 应伯爵

69話；“傻狗材，谁对你说来？…？” → 应伯爵

“傻狗材，若要人不知，除非己莫为。” → 应伯爵

73話；“你这狗材，单管恁没大小！” → 应伯爵

75話；“你看这贼花子！等明日他来着，老实抹他一脸粉。” → 应伯爵

76話；“贼天杀的狗材！你打窗户眼儿内偷瞧的你娘们好！” → 应伯爵

下男：

12話；“贼奴才，你知罪麽？” → 琴童

“奴才！还捣鬼，与我旋剥了衣服，拿板子打！” → 琴童

“把奴才两个鬓与我捋了、赶将出去，再不许进门！” → 琴童

“…，你休推睡里梦里，奴才我才已审问明白，他一一都供出来了！…？” → 琴童

24話；“贼奴才，一个也不在这里伺候，往那里去来？贼少打的奴才！”

→ 書童

26話；“奴才那里？” → 鉞安兒

35話；“贼奴才！还站着！” → 平安兒

“你这奴才，不要说嘴。你好小胆子儿！…！” → 平安兒

“叫两个会动刑的上来，与我着实拶这奴才！” → 平安兒

“我把你这贼奴才！你说你在大门首，想说要人家钱儿，在外边坏我的事。休吹到我耳朵内，把你这奴才腿卸下来！” → 平安兒

“把这小奴才下去，也拶他一拶子” → 書童

76話；“贼奴才，你实说，他叫你做甚么？” → 画童

ごろつき：

34話；“我把你这起光棍！他既是小叔，王氏也是有服之亲，莫不不许上门行走？相你这起光棍，你是他什么人？…” → 車淡、管世寬等

- 35話：“我把你这起光棍，如何寻这许多人情来说？…！”
→車淡、管世寬等
- 69話：“这起光棍，我今日衙门里已各重责发落，饶恕了他。怎的又央你去？”→小張閻等
“这起光棍可恶。我倒饶了他，如何倒往那里去搅扰！”→小張閻等
“我把你这起光棍，我倒将就了你，你如何指称我这衙门，…！”
→小張閻等
“…。你这起光棍，设骗良家子弟，白手要钱，深为可恶！…！”
→小張閻等
“我把你这光棍，我道饶出你去，都要洗心改过，务安生理。
…！”→小張閻等
- 47話：“左右与我用起刑来！你两个贼人，专一积年在江河中，假以舟楫
装载为名，实是劫帮凿漏，邀截客旅，图财致命。…！”
→陳三、翁八

その他：

- 58話：“胡说，怎的不来？”→節級（無名氏）
- 61話：“这厮俱是胡说。”→趙先生
“与我又出去。”→趙先生

間接罵倒表現—〈女性〉—妻：

- 12話：“吩咐带马会去，家中那个淫妇使你来，我这一到家都打个臭死”
→金蓮
“…？这个淫妇，我几次因他再三咬群儿口伤人，也要打哩！”
→金蓮
- 18話：“淫妇们间的声唤，平白跳什么百索儿？”→金蓮
“你由他，教那不贤良的淫妇说去，到明日休想我这里理他。”
→李瓶兒
- 19話：“贼贱淫妇，即嫁汉子去罢了，又来缠我怎的？…。你对他说，
甚么下茶下礼，拣个好日子，抬了那淫妇来罢。”→李瓶兒

“你不知淫妇有这些眼里火，等我奈何他两日，慢慢进去。”

→李瓶兒

“…。你不知道，淫妇有些吃着碗里，看着锅里。…？” →李瓶兒

“你每休信那淫妇装死儿誑人。…！贼淫妇，不知把我当谁哩！”

→李瓶兒

20話： “你看贼小淫妇儿！躡在泥里，把人绊了一交。…。恁一个小淫妇！昨日叫丫头们平白唱‘佳期重会’，我就猜是他干的营生。” →金蓮

38話： “休信他小淫妇儿。等我和你两个拉他去，务要把他拉了来，…”

→金蓮

74話： “…。他是恁行货子，受不的人个甜枣儿，就喜欢的！” →金蓮

75話： “你听那小淫妇儿，他勉强着，紧处他就慌了。…” →金蓮

“你甚紧，自身上不方便，理那小淫妇做什么？平白和他合甚么气？” →金蓮

“我的好姐姐，你别要和那小淫妇儿一般见识。…。我往前边骂这小淫妇儿去！” →金蓮

“你也耐烦？把那小淫妇儿只当臭屎一般去着他哩，他怎的？…？” →金蓮

76話： “你理那小淫妇儿怎的？” →金蓮

娘：

17話： “…？陈亲家是我的亲家，女儿女婿两个业障搬来咱家住着，这是一件事。…” →西門大姐

女中：

24話： “今日顿这样！的茶去与人吃，你往厨下查那个奴才老婆上窝？…。” →惠祥

応伯爵の妾：

67話： “…？是春花那奴才生的？” →春花

“那贼拘掇腿的奴才，谁教你要他来了？叫叫老娘还抱怨。” →春花

“…，过个满月把春花那奴才叫了来，…” →春花

“到那日，好歹把春花儿那奴才收拾起来，牵了来我瞧瞧。”

→春花

“别要慌，我见了那奴才，和他答话。” → 春花

75話；“春花儿那成精奴才，也打扮出来见人？” → 春花

“那奴才撒把黑豆，只好教猪供罢！” → 春花

芸妓：

54話；“董娇儿那个小淫妇，怎地不来？” → 董嬌兒

58話；“这个小淫妇儿，这等可恶！在别人家唱，我这里叫他不来。”

→ 愛月

68話；“恁小淫妇儿，我分付休和这小厮缠，他不听，…” → 李桂姐

69話；“…。今日贼小淫妇儿不改，又和他缠，每月三十两银子，…”

→ 李桂姐

三姑六婆：

32話；“休教那老淫妇来，胡针乱灸的，另请小儿科太医来看孩儿。”

→ 劉婆さん

33話；“信那老淫妇胡针乱灸，还请小儿科太医看才好。即好些了罢，若不好，拏到衙门里去拶与老淫妇一拶子！” → 劉婆さん

40話；“我那里叫他买丫头来？信那老淫妇哄你哩。” → 薛嫂

48話；“…？他娘儿两个不到坟前与祖宗磕个头儿去？你信那婆了淫妇胡说” → 劉婆さん

51話；“那个是薛姑子，贼胖秃淫妇，来我这里什么？” → 薛姑子

59話；“…？又信刘婆子那老淫妇，平白把孩子灸的恁样的。若好便罢，不好，把这老淫妇拿到衙门里，与他个两拶” → 劉婆さん

75話；“你没的说那刘婆子老淫妇，他会看什么胎产？…” → 劉婆さん

〈男性〉一下男：

25話；“谁和那厮有着尾？” → 来旺兒

26話；“众生好度人难度，这厮真个杀人贼！…” → 来旺兒

76話；“你叫那小奴才来，等我问他。” → 画童

娘婿：

17話；“…？陈亲家是我的亲家，女儿女婿两个业障搬来咱家住着，这是一件事。…” → 陳經濟

交友關係：

51話；“…，这里诓人家这银子，那里诓人家银子，那祝麻子还对着我捣生鬼？” → 祝日念

ごろつき：

35話；“我若不把奴才腿卸下来，也不算。” → 車淡、管世寬等

その他：

18話；“苦哉！你嫁别人，我也不恼。如何嫁那矮王八！他有什么起解？” → 蔣竹山

“…。若嫁了别人，我到罢了。那蒋太医贼矮王八，那花大怎不咬他下截来？…” → 蔣竹山

19話；“…。这厮手把着脉，想起他鱼来，挂在帘钩儿上，就忘记看脉。…” → 蔣竹山

“想必那矮王八打重了，在屋里睡哩。…” → 蔣竹山

“…？你跟着那矮王八过去便了！…！” → 蔣竹山

“…；如何不依我，慌忙就嫁了蒋太医那厮？你嫁了别人，我倒也不恼！那矮王八有什么起解？…” → 蔣竹山

“…。只略施行计，教那厮疾走无门；…！” → 蔣竹山

“…，我比那蒋太医那厮谁强？” → 蔣竹山

“…，你说的是。果然这厮他见什么碟儿天来大” → 蔣竹山

27話；“这少死光棍这等可恶！” → 宋仁

38話；“这少死的花子！等我明日到衙门里，与他做功德！” → 韓二

76話；“我把他当个人看，谁知人皮包狗骨东西，要何用？” → 温必古

“…。这样狗背石东西，平白养在家做什么！” → 温必古

77話；“又题甚么温老先儿？通是个狗类之人！” → 温必古

[2] 種類別の罵倒語

下記の表中の「直」は直接罵倒表現を表し、「間」は間接罵倒表現を表している。

1. 「売春婦」類		6. 「嘘つき」類		
直	金蓮	賊淫妇、淫妇、怪小淫妇儿、小淫妇儿、小淫妇、淫妇儿、贼小淫妇、小歪刺骨儿、小捏刺骨儿、贼小淫妇儿、怪小淫妇	金蓮	怪油嘴、胡说白道的、胡说、胡枝扯叶的、小油嘴胡说、八十岁妈妈没牙、贼小油嘴儿、小油嘴儿、刁嘴、六说白道、怪小油嘴、贼嘴贼舌的
	李瓶時	淫妇、秘尿	玉楼	怪油嘴
	孫雪娥	贼歪刺骨、贼奴才淫妇、好贼歪刺骨	春梅	怪小油嘴、怪小油嘴儿
	金蓮、玉楼	粉头	愛月	小油嘴儿
間	金蓮	小淫妇、小淫妇儿、淫妇	李桂姐	胡说
	李瓶時	淫妇、贼淫妇、贼贱淫妇	応伯爵	胡说
	惠祥	奴才老婆	孫賓嘴	天灾人祸老油嘴
	愛月	小淫妇儿	常時節	没的扯淡
	董嬌兒	小淫妇	節級	胡说
	李桂姐	贼小淫妇儿、小淫妇儿	趙先生	胡说
	劉婆さん	老淫妇、淫妇胡说	間 劉婆さん	淫妇胡说
	薛嫂	老淫妇	7. 「愚鈍」類	
薛姑子	贼胖秃淫妇	直 応伯爵	傻狗材、傻狗才、傻孩子	
2. 「下僕」類		8. 「変人」類		
直	金蓮	怪奴才、好奴才、怪小奴才儿、奴才	金蓮	怪小淫妇儿、怪奴才、怪油嘴、怪行货子、怪小奴才儿、怪小油嘴、怪小淫妇
	李瓶兒	怪奴才	李瓶兒	怪奴才
	孫雪娥	贼奴才淫妇	玉楼	怪油嘴
	秋菊	贼奴才	春梅	怪小油嘴、怪小油嘴儿
	夏花兒	奴才	応伯爵	怪狗材、怪狗才、怪花子、怪狗才东西
	小玉	贼奴才	9. 「捻くれた者」類	
	鉞安兒	奴才	直 金蓮	小歪刺骨儿、小捏刺骨儿
	平安兒	贼奴才、奴才	直 孫雪娥	贼歪刺骨、好贼歪刺骨
	琴童	贼奴才、奴才	直 応伯爵	歪狗材、歪狗才
	書童	贼少打的奴才、贼奴才、小奴才	10. 「物品」類	
	画童	贼奴才	直 金蓮	怪行货子
	趙先生	厮	直 応伯爵	小行货子、怪狗才东西

問	惠祥	奴才老婆	問	金蓮	行貨子	
	春花	賊拘掇腿的奴才、奴才、成精奴才		温必古	人皮包狗骨東西、狗背石東西	
	画童	小奴才		11. 「人体的特徴（欠陥）」類		
	来旺兒	厮		問	薛姑子	賊胖秃淫婦
	蔣竹山	厮			祝日念	麻子
	車淡、管世寬	奴才			蔣竹山	矮王八、賊矮王八
3. 「盗人」類			12. 「ならず者」類			
直	金蓮	賊淫婦、賊小淫婦、賊小油嘴兒、賊嘴賊舌的、賊小淫婦兒	直	車淡、管世寬	光棍	
	玉樓	賊小肉兒		小張間など	光棍	
	孫雪娥	賊歪刺骨、賊奴才淫婦、好賊歪刺骨	問	宋仁	少死光棍	
	秋菊	賊奴才	13. 「死」類			
	小玉	賊奴才	直	李桂姐	賊天杀的	
	李桂姐	賊天杀的		応伯爵	賊天杀的狗材、賊掐断了肠子的天杀的	
	応伯爵	賊花子、賊狗材、賊没行止的狗骨秃、賊天杀的狗材、賊掐断了肠子的天杀的	問	韓二	少死的花子	
	平安兒	賊奴才		宋仁	少死光棍	
	琴童	賊奴才	14. 「こじき」類			
	書童	賊少打的奴才、賊奴才	直	応伯爵	賊花子、花子、怪花子	
	画童	賊奴才	問	韓二	少死的花子	
	陳三、翁八	賊人	15. 「年寄り」類			
	問	李瓶時	賊淫婦、賊賤淫婦	問	劉婆さん	老淫婦
春花		賊拘掇腿的奴才	薛嫂		老淫婦	
李桂姐		賊小淫婦兒	16. 「災害」類			
薛姑子		賊胖秃淫婦	直	孫賓嘴	天灾人祸老油嘴	
来旺兒		杀人賊	17. 「妖怪」類			
蔣竹山		賊矮王八	問	春花	成精奴才	

4. 「“小”“儿”」類		18. 「犬」類		
直	金蓮	怪小淫妇儿、小淫妇儿、小淫妇、淫妇儿、贼小淫妇、小油嘴胡说、贼小油嘴儿、小油嘴儿、小歪刺骨儿、小搥刺骨儿、怪小奴才儿、怪小油嘴、贼小淫妇儿、怪小淫妇	直 応伯爵 怪狗材、怪狗才、狗材、狗才、傻狗材、傻狗才、歪狗材、歪狗才、贼狗材、贼没行止的狗骨秃、怪狗才东西、贼天杀的狗材	
	玉楼	贼小肉儿	間 温必古 人皮包狗骨东西、狗背石东西、狗粪之人	
	春梅	怪小油嘴、怪小油嘴儿	19. 「子供」類	
	愛月	小油嘴儿	直 応伯爵	傻孩子
	応伯爵	小行货子	20. 「驱逐」類	
書童	小奴才	直 趙先生	叉出去	
間	金蓮	小淫妇、小淫妇儿	21. 「仏教用語」	
	愛月	小淫妇儿	間 娘	业障
	董嬌兒	小淫妇	陳經濟	业障
	李桂姐	贼小淫妇儿、小淫妇儿	22. 「“好”」類	
画童	小奴才	直 金蓮	好奴才	
5. 「妻を寝取られた男」類		直 孫雪娥	好贼歪刺骨	
間 蔣竹山	矮王八、贼矮王八			